

1 教育目標

○ 心豊かで、自ら考え行動できる生徒の育成。

【校訓】 ○自主 ○勤労 ○敬愛

【経営スローガン】 「努力夢現」 ～努力を続けることで、夢や目標が実現・達成できる学校～

2 学校経営方針

「多様性を尊重し、社会を生き抜く力を育む」

多様な社会を生き抜くために、主体性があり自己有用感の高い生徒を育てていく→「幸せに生きる力」
そのために

①教育のベクトルを合わせる

②教え込む教育から考えさせる教育への変換

③学校は失敗が許される場所、分からないと言える場所であること

3 重点目標

- (1) 確かな学力の向上
- (2) 生徒指導・教育相談の充実
- (3) 健康・安全教育の推進
- (4) 教育環境の整備
- (5) 開かれた学校づくりの推進
- (6) 働き方改革に向けた職場づくり

4 自己評価

| 領域 | 項目 | 質問内容 | アンケート集計 | | | 分析及び改善策 |
|----------------------------|-----------------------------------|--|----------|-----|-----|---|
| | | | 肯定的割合(%) | | | |
| | | | 生徒 | 保護者 | 教職員 | |
| 学校経営 | 教育目標 | 「心豊かで、自ら考え行動できる生徒の育成」の学校教育目標達成に向け、努めている。 | 92 | 95 | 100 | 教育目標は校内の多くの場所に掲示し、生徒、職員が常に言えるよう工夫している。玄関モニターを活用し、「教育目標」の項目、「学校の雰囲気」の項目で、90%を達成された。7月からポイントが向上し、保護者も90%以上の評価であった。コロナ禍で学校へ来校する機会が減少していた昨年に比べ、「わからない」との回答が5%以下となり、学校だより、毎日の学校HPの更新、テトルの活用等で学校の様子、雰囲気を周知することができた成果と考える。 |
| | 学校の雰囲気 | 全体的に活気があり、明るく楽しい雰囲気である | 93 | 92 | 87 | |
| | 愛校心 | 本校が取り組んでいる教育活動に、満足している。 | 88 | 94 | 87 | |
| | 組織運営 | 校務分掌の責任体制が明確で、適切に機能している。 | | | 93 | |
| | 業務の改善 | 校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している。 | | | 87 | |
| 心の教育 | 生活・生徒指導 | ルールやマナーを理解し、行動している。 | 93 | 93 | 73 | 全体的に高評価ではあった。昨年からの保護者と職員との差が大きかったものの10ポイント内に収まった。昨年教育活動を実践しているのも関わらずいじめ防止や人権・平和の項目において「わからない」が10%を超えている点が10以内に収まった。生徒自身が学校での出来事を家でよく話をするようになったこと。毎日の学校HPの更新による周知が正かとしてあげられる。 |
| | | あいさつをよくしている。 | 90 | 87 | 80 | |
| | | 自分で考え、足りないところや失敗もするけれど、前向きに頑張っている。 | 87 | 84 | 80 | |
| | | 生徒の悩みや相談に親身に対応している。 | 78 | 83 | 93 | |
| | いじめ防止対策 | いじめ防止やいじめ根絶のためのアンケートや教育相談、指導をしている。 | 91 | 85 | 93 | |
| | 人権教育 | 「生命や人権を尊重する心」を育てている。 | 89 | 90 | 100 | |
| | 平和教育 | 平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている。 | 91 | 93 | 100 | |
| 特別支援教育 | 生徒一人一人の様子や事情に応じて、指導したり、対応したりしている。 | 77 | 81 | 93 | | |
| 確かな学力 | 特色ある学校づくり | 地域と協力し、伝統・校風を大切に教育を行っている。 | 85 | 92 | 80 | 確かな学力では、昨年からの県の学力向上の項目を新設している。「計画的な学習の計画」「2時間以上の学習の確保」で三者とも80%を下回っている。今後の学力向上を図るためにも職員の意識改革をはじめ、生徒、保護者への家庭教育の充実について共有していく必要がある。「読書」の項目で、過去最低となった。タブレットの活用を重点として時間の確保ができなかった。今後時間の確保が課題である。また、「キャリア教育」の項目も、低いポイントとなっている。特に保護者へ「キャリア教育」の周知ができていない。今後キャリア教育の充実に向けて取り組む必要がある。 |
| | | わかりやすく、ためになる授業づくりに努めている。 | 82 | 78 | 100 | |
| | 学習指導・教育課程 | 自主的に、意欲的に授業に取り組んでいる。 | 77 | 69 | 87 | |
| | | 自分に必要な学習を自覚し、粘り強く、計画的に取り組んでいる(塾等での学習を含む)。 | 76 | 63 | 73 | |
| | | 学校の授業以外で2時間以上学習している。(タブレット学習、塾等での学習、学校での自習を含む) | 64 | 50 | 60 | |
| | 読書 | 本に親しんでいる。 | 53 | 41 | 40 | |
| | GIGA | GIGAスクール構想をふまえ、一人一台端末の活用を図っている。 | 79 | 90 | 93 | |
| | キャリア教育 | 将来の進路や職業についてよく指導している。 | 77 | 71 | 80 | |
| 長崎の文化や歴史を誇りに思い、ふるさとが好きである。 | | 86 | 75 | 87 | | |

| | | | | | | |
|---------|---------------------------------------|---------------------------------------|----|----|-----|---|
| 健やかな体 | 保健・衛生 | 病気やけがの予防に努め、健康・安全に関する教育を行っている。 | 91 | 95 | 100 | 衛生管理の評価が高かったのは、これまでの感染症対策の成果が生かされている。「基本的生活習慣」の項目で、保護者・教員で90ポイントを達成できなかった。計画的に生活するように自分自身でスケジュールを立てて生活する項目が低いことから、重要ポイントとして次年度強化していきたい。体力の向上・食育については、具体的な項目に新設したことや昨年以上に食育に関する講演会等を実施した。講演会を起点にして実生活に生かすことができている。 |
| | 体力向上 | 自分のスケジュールや健康を自分で管理し、遅刻や欠席をしないで登校している。 | 91 | 83 | 87 | |
| | | 学校行事や体育的活動、部活動に意欲的に取り組んでいる。 | 91 | 91 | 93 | |
| | | 登下校の歩行運動等も含め30分以上の運動をして体力向上に努めている。 | 93 | 80 | 87 | |
| 食育 | 食に関する（給食指導含む）教育を行っている。 | 90 | 90 | 87 | | |
| 信頼される学校 | 安全管理・安全教育 | 施設等が壊れていない、壊れても修理するなど生徒の安全に気を配っている。 | 84 | 85 | 100 | 安全教育研究3年目として、保護者、地域と連携して安全教育の実践を行い、昨年からさらに高いポイントであった。しかしながら、「自分が安全に気を付けて生活する」の項目で、ポイントが上がらないので、安全を自分事として生活できるよう指導を続ける必要があると感じた。 |
| | | 安全に関する教育を行っている。 | 93 | 89 | 93 | |
| | | 安全に気を付けて生活している。 | 93 | 92 | 87 | |
| | 情報提供 | 各種通信やホームページ、一斉メール等てよく情報を発信している。 | 85 | 99 | 93 | |
| | PTA・地区との連携 | 学校と家庭・地域は、よくコミュニケーションをとり連携している。 | 78 | 89 | 100 | |
| 職員の資質向上 | 校内研修が遂行されたり、教職員間の情報提供等で、職員の資質が向上している。 | | | 87 | | |
| 教育環境 | 環境整備 | 校内がきれいに保たれ、学習しやすい雰囲気や学校施設や道具は整備されている。 | 86 | 92 | 100 | 「安全管理」と「環境整備」と災害への対策に万全を期しているが、校舎の老朽化は否めない。その中で、雨漏りの対策や迅速に対応した。生徒の目に触れないような対応であったため、老朽化が目立っているように感じる。今後も行政と調整し、対応していきたい。 働き方改革の中での働き方の意識改革を今後もしていく必要がある。職員の心身の健康を図りながら、教育活動の充実を目指したい。 |
| | 職場環境 | 働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる。 | | | 100 | |
| | | | | | | |
| | | | 85 | 84 | 88 | |

5 自己評価のまとめ（成果・課題・対策等）

- ・保護者の回収率は72.6%（7月WEB回答）、63.5%（12月WEB回答）。2回目の回答率が悪くなった。保護者からはWEB回答が定着してきた。一方「テトル」での配信があまりにも多く、見なくなった。との回答があり、今後配信の仕方に課題を感じた。
- ・長崎市R3から評価項目を新しくした。より具体的に評価できるように工夫を重ねていく。
- ・「わからない」という回答項目で、学校だより・HP等の周知の工夫の成果があり、ほとんどが15ポイント以下となった。
- ・学力向上に向けた具体的な目標に、県の示す学力調査の内容「授業時間以外の学習活動2時間（塾・放課後を含む）」と具体的な項目とした。かなり80ポイントを下回っており、今後計画的な学習と合わせて取り組みを強化したい。
- ・「読書」の項目が過去最低となった。タブレットの活用の時間に追われていることが要因。読書の時間の確保に努める。

6 学校関係者評価

- ・読書の時間は大切である。時間の確保をお願いしたい。
- ・地域での子どもとのふれあい、朝の見回り、朝の挨拶（手をふってくれることも）がとてもよい。
- ・小学校で落ち着かなかった生徒が落ち着いている。
- ・家庭学習では、1・2年生では、学校で決めてもらわないとできないのではないか（育友会）。
- ・家庭教育の再確認。お手伝いとヤングケアラーとの境についてのご意見を頂いた。一定の手伝いは社会教育として必要ではないか。

7 対策等の見直し（学校関係者評価を受けて）

- ・学校評価、学校関係者評価（学校評議員）を受けて、令和6年度に向けて早急に対応すべきもの、時間をかけて検討すべきものを精査し、教育活動の充実を目指す。
- ・数値の低かったものや、経年比較の結果数値が下がっている項目について重点を置き、令和6年の学校経営を提示し、教職員の共通理解と共同実践を目指す。
- ・学校評価を含め、保護者への学校の周知が必要。引き続きHPの更新など広報活動に努める。
- ・読書の時間を含め、計画的な生活の推進のため、日々の生徒の手帳を「フォーサイト」手帳に変更。今後「計画的な生活」「基本的生活習慣の確立」に努めたい。